

# 日本BS放送株式会社

2024年8月期 (決算補足説明資料)

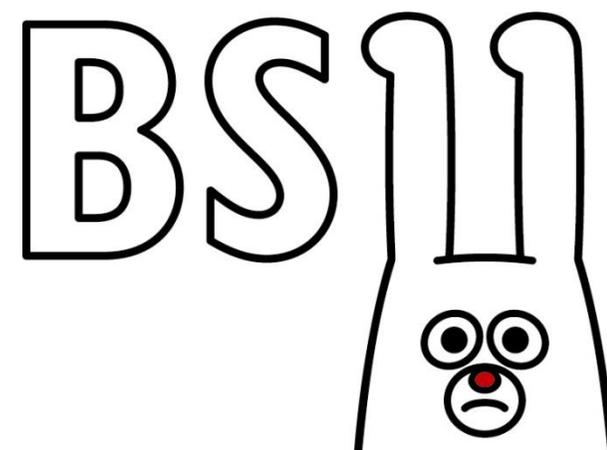
2024年10月10日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P17
IV	(ご参考)会社概要	P23

# I 決算概況



2024年8月期 総括(連結)

売上高	12,241百万円 (前期比 1.4%減 ↓)
営業利益	2,083百万円 (前期比 5.0%増 ↑)

2024年8月期 総括(個別)

売上高	11,357百万円 (前期比 2.3%減 ↓)
営業利益	2,057百万円 (前期比 4.4%増 ↑)



# 貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

(単位:百万円)

## キャッシュ・フロー計算書

	2023年8月期	2024年8月期
営業キャッシュ・フロー	1,336	2,468
税金等調整前当期純利益	2,015	2,097
減価償却費	509	606
売上債権の増減額(▲は増加)	△250	94
未払金の増減額(▲は減少)	45	△153
未払い消費税等の増減額(▲は減少)	△89	207
法人税等の支払額	△734	△550
投資キャッシュ・フロー	△1,435	△9,351
定期預金の預入による支出	-	△8,000
有形固定資産の取得による支出	△1,403	△32
投資有価証券の取得による支出	-	△1,309
財務キャッシュ・フロー	△757	△564
短期借入金の返済による支出	△520	△100
配当金の支払額	△355	△462
現金及び現金同等物の増減額	△856	△7,447
現金及び現金同等物の期首残高	14,456	13,599
現金及び現金同等物の期末残高	13,599	6,152

(単位:百万円、下段は構成比)

## 貸借対照表

		2023年8月期末	2024年8月期	
			期末	前年増減額
流動資産		16,669	17,041	372
		(67.3%)	(65.8%)	
固定資産		8,086	8,852	766
		(32.7%)	(34.2%)	
資産合計		24,756	25,894	1,138
		(100.0%)	(100.0%)	
流動負債		2,018	2,166	148
		(8.2%)	(8.4%)	
固定負債		131	128	△3
		(0.6%)	(0.5%)	
負債合計		2,150	2,295	△145
		(8.8%)	(8.9%)	
純資産合計		22,606	23,598	992
		(91.2%)	(91.1%)	
負債・純資産合計		24,756	25,894	1,138
		(100.0%)	(100.0%)	

売上高は**11,357**百万円（前期比2.3%減）、営業利益は**2,057**百万円（前期比4.4%増）、  
当期純利益は**1,432**百万円（前期比5.2%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2023年8月期	2024年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(前期比)
売上高	11,625 (100.0%)	11,357 (100.0%)	△2.3%	△267	11,900 (100.0%)	△4.6%	△543	(売上高) ・タイム収入…△26百万円 ・スポット収入…△293百万円 ・その他収入…+51百万円
売上総利益	5,558 (47.8%)	5,354 (47.1%)	△3.7%	△204	—	—	—	(段階利益) ・売上高は前期比減収
営業利益	1,970 (17.0%)	2,057 (18.1%)	4.4%	87	1,900 (16.0%)	8.3%	157	<<利益増加の具体的要因>> <u>売上原価:</u> ・編成戦略に基づくアジアドラマ 放送枠の変更による番組 購入費の減少 ・前年実施のスタジオ設備更新 に伴う放送関連費用の反動減
経常利益	1,974 (17.0%)	2,073 (18.3%)	5.0%	99	1,900 (16.0%)	9.1%	173	<u>販売管理費:</u> ・出稿媒体の見直し等による 広告宣伝費の減少
当期純利益	1,362 (11.7%)	1,432 (12.6%)	5.2%	70	1,311 (11.0%)	9.3%	121	

	2023年8月期	2024年8月期				
		実績	増減額	前期比	計画	計画比
売上高	11,625 (100.0%)	11,357 (100.0%)	△267	△2.3%	11,900 (100.0%)	△4.6%
タイム収入	8,288 (71.3%)	8,262 (72.7%)	△25	△0.3%	8,537 (71.7%)	△3.2%
スポット収入	2,563 (22.0%)	2,269 (20.0%)	△293	△11.4%	2,433 (20.5%)	△6.7%
その他	773 (6.7%)	825 (7.3%)	51	6.7%	929 (7.8%)	△11.1%

主な増減要因（前期比）

■ タイム収入

通販枠の強化・拡充及び大型スポーツコンテンツのセールス強化を行うも、前期に放送した持込番組の反動減等により、前期比△0.3%微減で着地

■ スポット収入

前期に引き続き通販スポット市況低迷の影響を受け、前期比△11.4%減少

■ その他

イベント事業や配信事業の収入拡大、アニメ制作委員会からの出資配当の増加等により、前期比+6.7%増加

# 主要費用項目実績（個別）

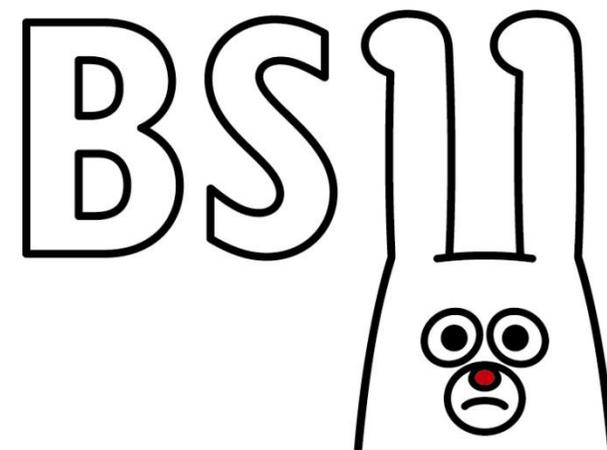
（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期	2024年8月期		
		実績	前期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	3,940 (33.9%)	3,855 (33.9%)	△2.2%	
番組購入費	432 (3.7%)	361 (3.2%)	△16.4%	編成戦略に基づくアジアドラマの放送枠変更による減少
番組制作費	3,507 (30.2%)	3,493 (30.7%)	△0.4%	
放送関連費用(原価)	624 (5.4%)	547 (4.8%)	△12.3%	
放送委託費	529 (4.6%)	497 (4.4%)	△5.9%	衛星利用料の見直しによる費用減
技術費	95 (0.8%)	49 (0.4%)	△47.4%	前年のスタジオ設備更新に伴う費用の反動減
広告関連費用(販管費)	1,015 (8.7%)	706 (6.2%)	△30.5%	
広告宣伝費	971 (8.4%)	662 (5.8%)	△31.8%	出稿媒体の見直し、コスト効率を意識した広告宣伝施策の実施
販売促進費	43 (0.3%)	43 (0.4%)	-	

# 貸借対照表（個別）

		2023年8月期	2024年8月期		
			実績	前年増減額	主要な増減要因
資産	流動資産	16,103 (66.6%)	16,553 (65.1%)	450	・現金及び現金同等物の増加 +607百万円
	固定資産	8,091 (33.4%)	8,858 (34.9%)	767	・投資有価証券の増加 +1,309百万円
資産合計		24,195 (100.0%)	25,412 (100.0%)	1,217	
負債	流動負債	1,567 (6.5%)	1,815 (7.1%)	248	・未払消費税の増加 +198百万円
	固定負債	127 (0.5%)	125 (0.5%)	△2	
負債合計		1,694 (7.0%)	1,941 (7.6%)	246	
純資産合計		22,501 (93.0%)	23,471 (92.4%)	970	・利益剰余金の増加 +969百万円
負債・純資産合計		24,195 (100.0%)	25,412 (100.0%)	1,217	

## Ⅱ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、  
これら6つの「力」を強化・実践

「6つの力」



「6つの力」を具現化する重点施策を  
新たに「Value3」と位置づけ推進





# 1.コンテンツ価値の最大化

➤レギュラー番組の強化





# 1. コンテンツ価値の最大化

## ▶ 特別番組の強化



## ～コラボレーション施策強化～



今年も日本全国各地の花火や祭りを生中継でお届け

## ～スポーツコンテンツの拡充～





# 1.コンテンツ価値の最大化

## ▶特別番組の強化

今期も多種多様な特別番組を放送



制作著作:KBS京都/BS11

制作著作:KBS京都/BS11

## ▶ドラマコンテンツの拡充



©TOKYO MX/BS11



© CHIN EMPIRE



© ITV Studios Limited 1989



©2014安倍夜郎・小学館/「深夜食堂 3」製作委員会



© JTBC Studios Co., Ltd. all rights reserved Format devised by Peter Moffat for the BBC, and distributed by BBC Studios



© アジア・コンテンツ・センター グッド・ストーリー NHK



©日/TBS

当社初の試みとして、東京メトロポリタンテレビジョン(株)とオリジナルドラマ『ある日、下北沢で』を共同制作



### III.放送周辺事業の強化と発展

#### ➤アニメ関連番組 毎クール40タイトル以上放送



©ゆでたまご・集英社・キン肉マン製作委員会



©松井優征・集英社・逃げ上手の若君製作委員会



©川上泰樹・伏瀬・講談社・転スラ製作委員会



毎週金曜よる8時～



©雨森たさび・小学館・マイン応援委員会



©篠崎芳・オーバーラップ・ハズレ枠の状態異常スキル製作委員会



©鍋敷/アース・スター エンターテイメント/俺は全てを【パリイ】する製作委員会



毎週金曜よる8時30分～

#### ➤イベントの推進



7月に「くちまる 京都～東京 真夏のしゃべくりツアー」を開催  
 京都公演をKBSホール、東京公演を福生市民会館 大ホールにてそれぞれ開催



今年はLINE CUBE SHIBUYAにて開催



### III. 放送周辺事業の強化と発展

➤ 社内外のプラットフォームにてコンテンツ配信を積極実施



➤ コラボレーション施策推進～(株)文化放送、(株)エフエム東京との取り組み～



(株)文化放送「超! A&G+」とのコラボコンテンツ『ワールドダイスターRADIO☆わらじ』の関連イベント「わらじ presents ワールドダイスター朗読劇★ワ朗」を東京証券会館にて開催



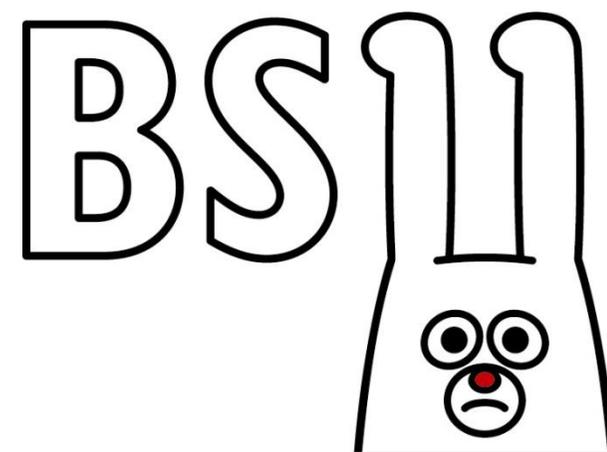
TOKYO FMのデジタル音声配信サービス「AuDee」にて報道番組『報道ライブ インサイドOUT』の番組音声の配信をスタート

➤ 新規施策推進



(株)産直と協業で、全国各地の食品・逸品を販売する「BS11SHOP 産直通販」をオープン  
北海道産「オオズワイガニ」や、そのほか北海道海産物の詰め合わせなどを販売中

### Ⅲ 通期計画



売上高は12,314百万円(前期比0.6%増)、営業利益は2,004百万円(前期比3.8%減)、  
親会社株主に帰属する当期純利益は1,407百万円(前期比3.3%減)を計画

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,936 (100.0%)	12,241 (100.0%)	5,906 (100.0%)	△0.5%	12,314 (100.0%)	0.6%	73
営業利益	927 (15.6%)	2,083 (17.0%)	957 (16.2%)	3.2%	2,004 (16.3%)	△3.8%	△79
経常利益	930 (15.7%)	2,097 (17.1%)	970 (16.4%)	4.2%	2,032 (16.5%)	△3.1%	△65
親会社株主に帰属 する当期純利益	642 (10.8%)	1,455 (11.9%)	660 (11.2%)	2.8%	1,407 (11.4%)	△3.3%	△48

売上高は11,600百万円(前期比2.1%増)、営業利益は2,000百万円(前期比2.8%減)、  
当期純利益は1,406百万円を計画(前期比1.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,547 (100.0%)	11,357 (100.0%)	5,646 (100.0%)	1.8%	11,600 (100.0%)	2.1%	243
タイム収入	4,009 (72.3%)	8,262 (72.7%)	4,165 (73.8%)	3.9%	8,518 (73.4%)	3.1%	256
スポット収入	1,164 (21.0%)	2,269 (20.0%)	1,048 (18.5%)	△10.0%	2,128 (18.4%)	△6.2%	△141
その他	373 (6.7%)	825 (7.3%)	432 (7.7%)	16.0%	953 (8.2%)	15.5%	128
営業利益	920 (16.6%)	2,057 (18.1%)	992 (17.6%)	7.8%	2,000 (17.2%)	△2.8%	△57
経常利益	924 (16.7%)	2,073 (18.3%)	1,006 (17.8%)	8.9%	2,029 (17.5%)	△2.1%	△44
当期純利益	638 (11.5%)	1,432 (12.6%)	697 (12.3%)	9.2%	1,406 (12.1%)	△1.8%	△26

## 2025年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

## 配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

## 年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は連結で表示しております。

	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期 (予想)
年間配当	19.0 円	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	93.19 円	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	81.70円	78.97円
配当性向	20.4%	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	36.7%	38.0%

## I. コンテンツ価値の最大化

### ➤ コンテンツ強化

新番組



毎週木曜よる8時～※アンコール放送:毎週日曜午後6時30分

7月に特別番組として放送した番組のレギュラー放送化

新番組



毎週木曜よる11時～

欧州最高峰のリーグ「プレミアリーグ」「ラ・リーガ」で活躍する日本人選手や、シーズン優勝争いを中心に、1週間の動きをレポートするサッカー情報番組



毎週水・木曜午前10時～ / 毎週火曜午後6時～

©デンナーシステムズ



毎週月・火曜午前10時～ / 毎週木曜午後6時～

©JCOM

### ➤ 特別番組の強化



日本のみならず世界の未来を左右するアメリカ大統領選を、笹川平和財団のスペシャリストたちが毎月定点観測



## I. コンテンツ価値の最大化

### ▶特別番組の強化



俳優の黒谷友香さんが、日本各地で花が美しく咲き誇るガーデンを訪ねて、お庭づくりに携わる人々とのふれあいを通じながら、理想のお庭づくりに挑戦



聖地「高野・熊野」を紹介する他、祈りの道「熊野古道」を行く。(株)テレビ和歌山共同制作特別番組



©Animelo Summer Live 2024

『アニメロサマーライブ2024 -Stargazer- powered by Anison Days』

## III. 放送周辺事業の強化と発展

### ▶10月クールアニメ関連番組



©蒼星さま・徳間書店/星鳩町きのご研究所



©村田 輝融/芳文社・妻小プロジェクト



©吾木 良喜・小学館/アニメ「結婚するって、本当ですか?」製作委員会



©2024 紫大悟・クレタ/KADOKAWA/魔王2099製作委員会

### ▶イベント事業の推進

2024  
**10.26**  
[土]  
15:30 開演

トークイベント  
**太田和彦 × 角野卓造**

いい酒いっしょ

大吟醸「我山」で乾杯!

会場 文化放送  
メディアプラスホール  
(オンライン配信あり)

『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』出演の太田和彦さんと、『おやじ京都呑み』出演の角野卓造さんによるトークイベント

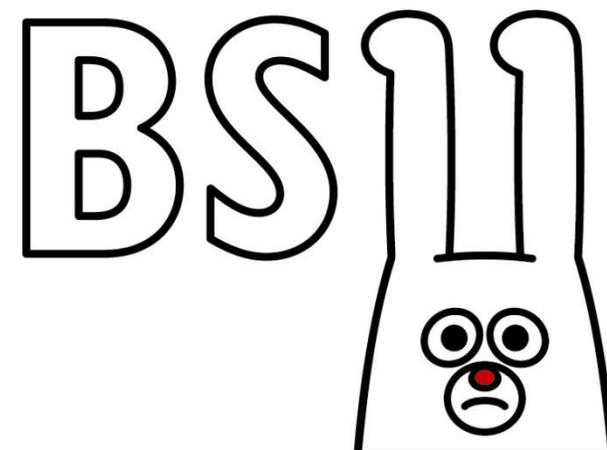
**SUPER SESSION** 12.22 Sun.  
~Precious Jazzy Time~  
日本橋三井ホール

天童よしみ 寺井尚子 マリーン 高木里代子

vol.1 11:30 Open/12:00 Start  
vol.2 16:30 Open/17:00 Start

初セッションが生み出す最高のステージ  
「SUPER SESSION~Precious Jazzy Time~」  
興行×放送×配信でマルチユース展開を実施

## IV (ご参考)会社概要



## 会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2024年8月31日現在）
従業員数	132名（連結）（2024年8月31日現在）

## 沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

## コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

## 全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	ジャパネット	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	<b>BS11</b>	BS12	BS松竹東急	BSJapanext	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2007年12月	2022年3月				2011年11月
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。										

## BS11の特徴

- ①独立系だからこそ**自由な編成**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイント**が**持てる企画**が可能！



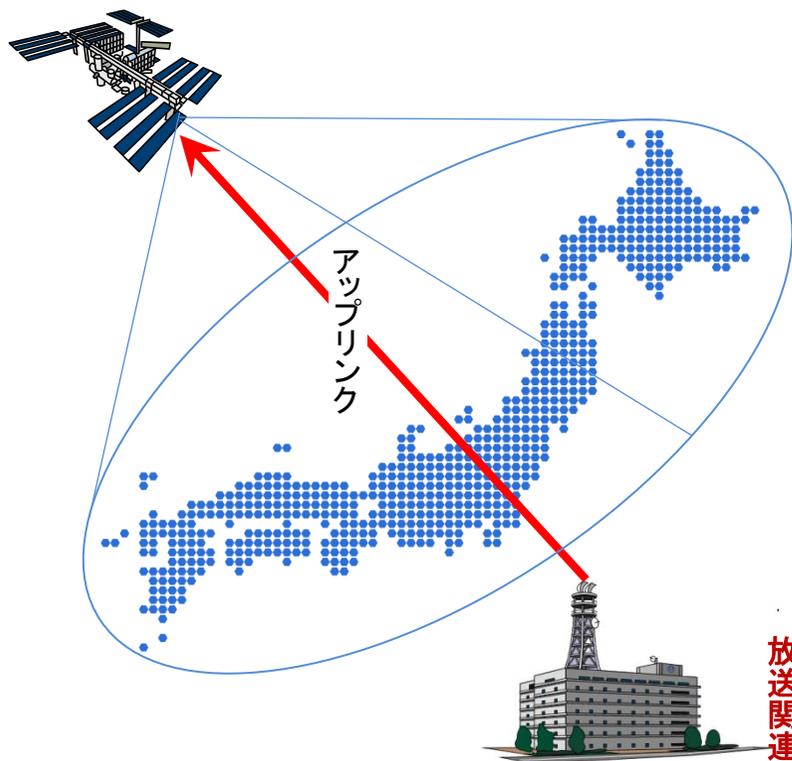
## 【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

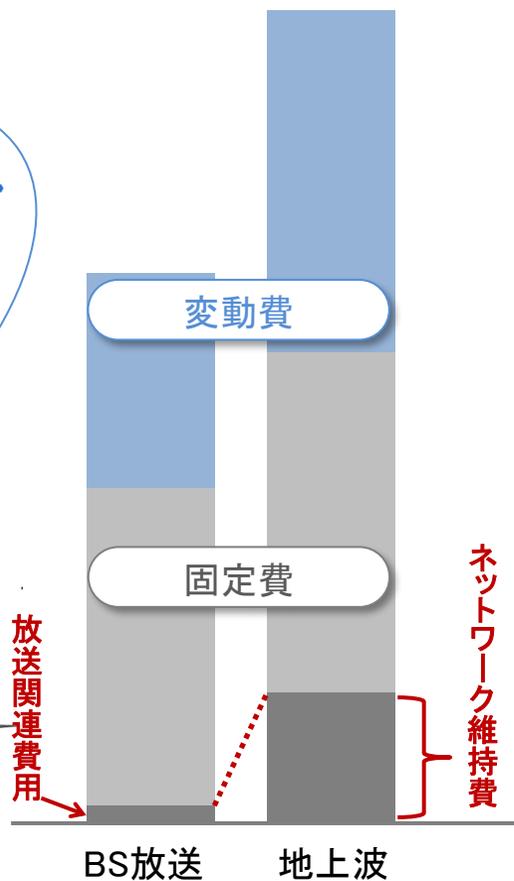
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

